

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助演習 I		必修 (社) 選択 (精.心)	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;                      ①ソーシャルワークに必要な価値と倫理の意味を理解し、対人援助を行う際意識することができる。                      ②ソーシャルワークに必要な「人の理解」を体感し、対人援助を行う際意識することができる。                      ③基本的なコミュニケーション技術を体感し、意識して実践することができる。                      &lt;概要&gt;印刷教材ではテキストを中心に学習し、同時双方向型授業では演習形式で行う。授業中に毎回、いくつか課題を提示し、個人で考えてまとめたりグループで議論したりして、理解を深めていく。授業終了後はリアクションペーパーに授業のまとめや感想等を記述して振り返りを行う。</p>				
学習上の助言	演習のため、受け身の授業でなく受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等に積極的に取り組むことが望ましい。				
教科書	社会福祉士 相談援助演習 第2版/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉士の価値・倫理とは何かを説明できる。			HSU(2)	
②	社会福祉士の価値と個人の価値観との違いを説明できる。			HSU(1)、社(1)	
③	社会福祉士が自己覚知を行う必要があることを説明できる。			HSU(6)	
④	人と環境の理解の必要性について説明できる。			HSU(5)	
⑤	ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク実践を理解できる。			HSU(2)、社(2)	
⑥	ソーシャルワークの展開過程を説明できる			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約、講義の概略、講義の進めかた、学びの方法について理解し「論」「演習」「実習」との関連を理解する。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
2	「演習のねらい」の確認及び「社会福祉士が関わる様々な生活問題」について考える。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
3	自己覚知の必要性及び相談援助の価値と倫理を理解する。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
4	事例から社会福祉士の倫理綱領の意味を理解する。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
5	倫理綱領と行動規範の理解を深める。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
6	対人援助関係について学ぶ。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
7	「人」を理解することで、個人の価値と他人の価値の違いを理解する。	印刷教材での授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
8	ソーシャルワーカーにとっての「人」の理解を深める。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4	
9	「環境」を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4	
10	ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク実践を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4	
11	ソーシャルワークの展開過程を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

12	ソーシャルワークの展開過程から、マイクロ・メゾ・マクロの視点での捉え方を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4			
13	ソーシャルワークの展開過程から、マイクロ・メゾ・マクロの視点での捉え方を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4			
14	グループワークの展開過程を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4			
15	ソーシャルワークの展開過程のまとめ及び前期の振り返り。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	20	30	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から必ず出題する。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式）				試験結果の掲示
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	学生が学んだことの理解度を振り返り、確認するため、定期的に小レポートを課して、まとめて論じる力を問う。				レポートは添削評価して、返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①	✓	毎回の講義で、テーマに応じて他者とロールプレイやグループワークを実施する。その際、ワークへの取り組み状況や姿勢、メンバーとの協調性、リーダーシップの発揮状況、発表者の発表内容等を見て判断する。				発表時や講義内でコメントをする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業時に配布するリアクションペーパーの「本日の授業内容」の内容を確認し、授業内容を理解しているかを評価する。				講義の際にコメントする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					

備 考

Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行います。

課題ダウンロードや映像共有を行いますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。

尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。

義中のスマートフォン等電子機器の使用は禁止する。講義中の私語等、他の学生に迷惑がかかる行為は禁止する。

○本講義では、学生の授業態度を重視する。出席していても授業態度や受講姿勢が著しく悪い場合は注意する。

(詳細についてはオリエンテーションで説明する。)

**教員の実務経験:**社会福祉士として認知症高齢者や知的障害者、精神障害者の成年後見人の受任や障害者の権利擁護法人の運営をして 8 年の実践経験

**実践的授業の内容:**テキストの項目やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例（個人を特定できないよう加工）を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行うことで、学生が科目内容をより具体的に学ぶことができるように学習を進める。